

令和3年第12回公安委員会会議録

日 時	4月22日（木曜日）	自午後 1時30分 至午後 4時20分	場 所	公安委員会室
会 議	公安委員	小野委員長 下山委員 原委員 山本委員 高木委員		
出席者	警察職員	本部長 警務部長 生活安全部長 刑事部長 交通部長 警備部長 情報通信部長 首席監察官		

第1 聴聞等についての決裁

運転免許課長から、聴聞10件、意見の聴取15件について説明があり、決裁が行われた。

第2 定例会議

1 職員懇談会の実施について

警察本部長、各部長等の警察本部の幹部が、各警察署の署員と、業務又は私行上の様々なテーマについて意見交換する職員懇談会の実施について報告が行われた。

【委員からの質問等】

委員から、「幹部と対面型で懇談するメリットは非常に大きいと思う。参加者に、その狙いも伝えてやると更に大きな成果が出ると思う」旨の発言があった。

2 登竜門制度における専務登用結果及び留置担当官の任用状況等について

(1) 専務登用結果について

留置管理部門から異動となった留置担当官39人中（退職者を除く。）、専務希望者は25人であったが、そのうち、22人が希望する専務部門へ登用された。

(2) 留置担当官の任用について

今春、他部門から留置管理部門へ任用された41人のうち、登竜門制度により任用された専務希望者は32人であった。

(3) 看守勤務員の配置状況について

県下の看守勤務員81人の年齢構成については、35歳未満が40%（配置目標30%以上）、50歳以上は25パーセント（配置目標30%未満）であった。

【委員からの質問等】

委員から、登竜門制度についての質問があり、警察側から、制度の沿革、目的等について説明があった。

3 令和3年版「肥後っ子のシグナル」の発行について

(1) 趣旨

令和2年中の熊本県内における少年の非行情勢や被害状況等を取りまとめた小冊子を作成し、学校や少年警察ボランティア等の関係機関・団体、非行少年の保護者等に配布して、少年の健全育成に資するもの。

(2) 冊子の内容等

ア 名称

「肥後っ子のシグナル」

(A5判サイズ、カラー印刷、本文38ページ編集)

イ 内容

(ア) 令和2年中における少年非行等の特徴点

(イ) 全国、都道府県との比較

(ウ) 県下の非行情勢

(エ) 少年の被害状況

(オ) 少年相談

(カ) 少年の非行防止・保護対策

ウ 発行部数

2万5千部

※ 県警察ホームページにも掲載

(3) 配布先

ア 県下各警察署

イ 県下の全小・中・高校

ウ 県・市町村教育委員会等の関係機関

エ その他

少年警察ボランティア、県内各青少年センター、非行少年の保護者等

【委員からの質問等】

委員から、「冊子が配布された後の活用が重要だと思う」旨の発言があり、また、別の委員からは「教育現場でも、本冊子を使って警察活動の説明がなされるのか」旨の質問があり、警察側から「学校等警察連絡協議会というものがあり、各警察署が管内の各学校と緊密に連携を取る中で冊子を活用している」旨の説明があった。

4 令和3年春の全国交通安全運動の結果について

(1) 交通事故等の状況

ア 交通事故発生状況（過去5年間の発生状況）

○ 熊本県内

区分	H29	H30	R1	R2	R3	前年対比		5年間の平均
						増減数	増減率(%)	
発生件数	159	109	113	89	82	-7	-7.9	110
死者数	1	2	1	1	0	-1	-100.0	1
負傷者数	219	136	156	119	102	-17	-14.3	146

○ 全国

区分	H29	H30	R1	R2	R3	前年対比		5年間の平均
						増減数	増減率(%)	
発生件数	12,232	10,668	9,578	7,645	8,619	+974	+12.7	9,748
死者数	74	84	56	63	56	-7	-11.1	67
負傷者数	15,037	12,961	11,762	9,099	10,130	+1031	+11.3	11,798

イ 全国一斉「交通事故死ゼロを目指す日」の結果

○ 4月10日（土）実施

県内の死者数0人（全国の死者数1人）

ウ 特異事案

○ 車両3台が絡む多重事故（阿蘇警察署管内）

日時	場所	路線	関係車両等	事故状況
4/13 15:30	阿蘇市 黒川	国道57号	第1当(軽四乗用) 第2当(大型貨物) 第3当(普通乗用) 第4当(工作物) 第5当(ブロック塀)	○ 中央線を突破した第1当と対向進行中の第2当が衝突 ○ 衝撃の弾みで第1当が第3当に衝突 ○ 第2当は第3当・第4当・第5当に衝突し停車

※ 【負傷者】 第1当（80代男性）肋骨骨折等の重傷、命に別状なし
第3当（30代女性・10代女性）頸椎捻挫等の軽傷

【交通規制】 約3時間の通行止め規制を実施

(2) 広報啓発活動

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底しつつ、県下全域でキャンペーンや街頭活動等を実施

【委員からの質問等】

委員から、「押しボタン式信号機のある横断歩道で、歩行者が立っていたところ、車側が青信号にもかかわらず、車が歩行者を渡らせようとして止まっているケース

に遭遇した。青信号にもかかわらず急に停車すると、追突の危険性もあるので、そこもしっかりと広報してもらいたい」旨の発言があり、警察側から、「その状況を検討し、事故が起きないように広報活動を行っていきたい」旨の説明があった。

5 水上バイクの配備について

(1) 導入の経緯

令和2年7月豪雨災害の経験を踏まえ、大規模浸水箇所における救出救助に係る機動力強化のために導入

(2) 水上バイクの概要

ア 本体

- ヤマハ製 (約280万円)
- 船体全長 3.58m × 全幅1.27m × 全高1.23m
- 定員 3人
- 推進装置 ジェットポンプ
- 燃料 無鉛レギュラーガソリン (燃料タンク容量70リットル)

イ 付属品

- 搬送用トレーラー (約60万円)
- レスキュースレッド (約60万円)



【委員からの質問等】

委員から、配備先・運転要員等について質問があり、警察側から説明がなされた。

6 その他

委員から、「大型連休は、県外移動の自粛や不要不急の外出自粛がいられているが、自粛生活が長かったせいで、やはり出かける人も多いと思われるので、交通面でしっかりと体制を整えていただきたい」旨の発言があった。

第3 報告・決裁等

1 当初予算編成作業スケジュールについての報告

会計課長から報告が行われた。

2 熊本県留置施設視察委員会委員の推薦依頼文の発出についての決裁

留置管理課長から説明があり、決裁が行われた。

3 天草市亀場町亀川において発生した死亡ひき逃げ事件の時効成立についての報告

交通指導課長から報告が行われた。

4 令和3年第11回公安委員会会議録の決裁

公安委員会事務室から説明があり、決裁が行われた。

5 投書受理の決裁

公安委員会事務室から説明があり、決裁が行われた。

6 要望（R3No.4）受理の決裁

公安委員会事務室から説明があり、決裁が行われた。

7 要望（R3No.5）受理の決裁

公安委員会事務室から説明があり、決裁が行われた。

8 審査請求（R2No.3）審理経過調書作成の決裁

公安委員会事務室から説明があり、決裁が行われた。

9 審査請求（R2No.3）審理手続の終結等についての決裁

公安委員会事務室から説明があり、決裁が行われた。

10 審査請求（R2No.3）裁決書の決裁

公安委員会事務室から説明があり、決裁が行われた。

11 第35回九公連協議テーマ及び自由討議テーマ決定についての報告

公安委員会事務室から報告が行われた。